

東日本大震災による県内経済の主な被害状況（一次・二次）

1 一次被害

津波により須崎市、四万十市等の養殖施設などに約 26 億円の被害が発生

2 二次被害

東日本大震災によって、次のような影響が県内経済に及んだ。この影響は、徐々に縮小してきているが、今後、夏場の節電による首都圏等での消費や生産の落ち込み、全国的な雇用情勢の悪化等も懸念されるため、引き続き状況を注視していく必要がある。

(1) 各産業分野への影響

① 農林水産業における影響

震災による消費意欲の低下や、首都圏での計画停電による営業時間の短縮などにより、本県から出荷される野菜や魚などの価格が低下

② 製造業への影響

- ・ 需要はあっても、資材等が確保できないために、製品の受注に対応できない状況が発生
- ・ 部品調達先のサプライヤーの被害によってメーカーで生産に必要な部品が揃わないために、受注が減少

③ 観光業への影響

- ・ 震災後、宿泊客の予約キャンセルが続発、宴会・パーティ等の自粛による売上の大幅減少
- ・ 観光イベントの自粛

(2) その他の影響

- ・ 地域アクションプラン等のイベントや販促活動の中止、延期
- ・ 首都圏等での販売促進に関する企画の中止
- ・ 原発事故による各国の輸入商品の検査強化や輸入規制等